

四宮小学校・北巢本小学校の 新しい学校づくりワークショップ



＜ ワorkshopニュース ＞

門真市教育委員会 令和7年8月発行



視察



検討

7/23 (水) 第2回・第3回 教職員ワークショップを開催しました!

6/16 (月) の第1回ワークショップにつづき、7/23 (水) に第2回・第3回ワークショップを開催しました。午前中は、統合小学校の事例として、守口市立 よつば小学校を視察した上で感想を共有し、午後には、6つのグループに分かれ「学びの視点、教育の視点から新しい学校の可能性を考える」意見交換を行いました。

「見学したことで、より具体的にイメージできた」「前回の意見が反映されていてよかった」「さまざまなアイデアや使い方について話しあうことができた」等、新しい学校への期待感が高まる声が寄せられました。

開催概要

- 日時・場所
2025年7月23日 (水)
10時～WS② 13時～WS③
守口市立よつば小学校
- 参加者
教職員の皆さん 42名

第2回 WS

新しい学びを創造する学習空間の可能性
を考える - 守口市立よつば小学校視察



普通教室



デン



水廻り



アクティブステップ



オープンスペースでの展示



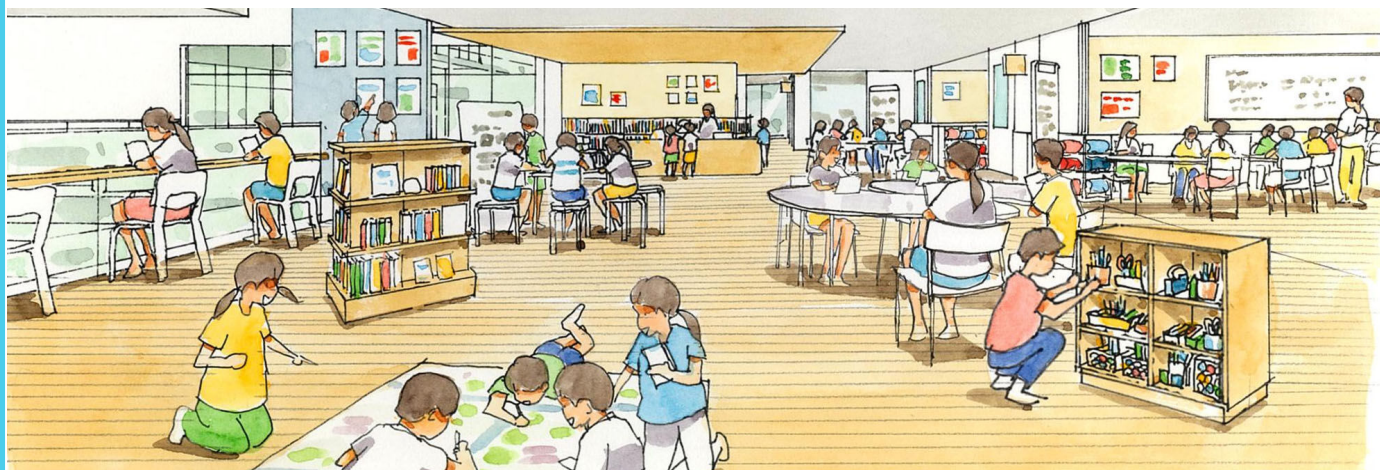
メディアセンター(図書室)

第3回 WS

学びの視点、教育の視点から新しい
学校の可能性を考える - ワorkshop



設計者より、児童、教職員の多様な活用が期待される 低学年コモンズ・中高学年コモンズ周辺の基本設計案の紹介



設計者より、前回ワークショップで教職員の皆さんからいただいた意見や提案を盛り込んだ、新しい学校の計画について、低学年コモンズと中学年コモンズを中心に、スライドと大型模型を使って説明がありました。



よつば小学校の計画の紹介と質疑応答

よつば小学校の設計者より、新しい学校と共通点の多い、よつば小学校の計画の概要や開校後7年が経過した現在の使われ方等について説明があり、事前の質問と当日の質問には、設計者に加えて、現よつば小校長先生や守口市教育委員会の担当者からも詳しい説明がありました。



WS・建設スケジュール（予定）

※ 門真市立四宮小学校・北巣本小学校 統合整備基本計画より

WSの予定	8月	9月	10月	11月	12月
教職員		9/3 WS④		各教室 設備確認	
地域保護者	8/7 WS				
児童		2学期に実施			

今回は8/7（木）に地域・保護者ワークショップ、9/3（水）に第4回教職員ワークショップを開催します。

第4回教職員ワークショップでは主に 職員室まわりの意見交換を行う予定です。

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
新校舎	基本計画策定	基本設計・実施設計				新校舎建設（四宮小学校敷地）	R11.4 新校舎運用開始 （四宮小学校敷地）
四宮小学校			解体設計 （四宮小学校）	解体工事 （四宮小学校）			
北巣本小学校		仮設校舎設計 （北巣本小学校敷地）	仮校舎工事 （北巣本小学校敷地）	R8.4 統合	四宮小・北巣本小統合運用 （北巣本小学校敷地）		

教職員WS③「学びの視点、教育の視点から新しい学校の可能性を考える」 ～低学年コモンズ・中高学年コモンズを中心に～ 意見の一部をご紹介します！

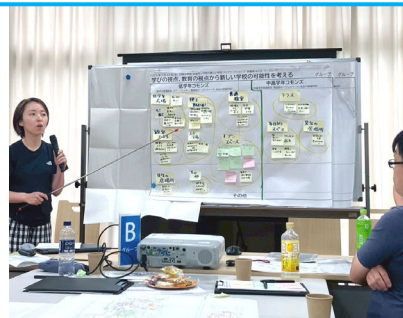
Aグループ

- 花や虫と出会えるスペースや、ウッドデッキのスペースがあるので、地域の力も借りながら、ものづくりのできるスペースがあるとよい。材木をたくさん用意して巣箱やツリーハウス作り等、いろいろなことに挑戦したい。
- 立体・平面作品展示用に、あちこちにコルクボードや棚がほしい。
- ペンキで汚してもよいアトリエスペースがあってもよい。
- トイレは、汚れが目立たないつくりにして、衛生的に保ちたい。



Bグループ

- 低学年から体作りができるよう、教室から常に見守ることのできるテラスに鉄棒等があるとよい。生活科の砂場遊びも教室のすぐそばだとよい。
- オープンスペースは常に教材が使えるようにしたい。大きな時計に触れる、マットを置いて休み時間も使える等。
- 温暖化で夏は暑くて外へ出られないので、室内で子どもたちの体力を発散させられるようにしてほしい。



Cグループ

- 多目的スペースは学年を超えて集まる場所、休み時間の遊び場になるとよい。
- 先生スペースは、空き時間の担任の先生が丸付けをしながら児童を見守れる。
- 低学年コモンズは、保育園や幼稚園のように、デッキの方から出入りして南側を下足場として使えたらよい。その場合通路が狭いので可能かどうかかわからないが、土の方まで気にせず下靴で行くことができる。



Dグループ

- クワイエットスペースは端の教室からしか目が届かないので、どこからでも目が届くようにしてほしい。
- 低学年コモンズについて。斬新だったのは、上靴のまま外に出られること。便利だが、どこからどこまで上靴でよいとするか、境界線等については指導が必要になる。
- 先生用の棚が1個しかないと、モノの多い先生にとっては足りない。棚は何個かあってもよい。



Eグループ

- 低学年コモンズのデンはよい、中高学年もほしい。
- 中高学年の教室も8m×11.5mあるとよい。
- 低学年にも更衣室がほしい。先生コーナーをなくしてでもあったほうがよい。
- デンの位置は、サポートしてくれる先生が入って来やすい手前が良いのでは。
- 教室が不足しないか心配。せめて各学年に+1部屋ずつほしい。



Fグループ

- 普通教室は、電子黒板よりもホワイトボードをスクリーンと一体で使える方がよい。
- 低学年の教室には水道があるが、中高学年にもほしい。
- 教室前方の掲示は子どもの集中の妨げになるため、横や背面、廊下が良い。
- メディアセンターで、本に触れる機会を増やすのであれば、ヒト、を充実させなければならない。管理する人が必要。ただあるだけでは廃れてしまう。



教職員WS②「新しい学びを創造する学習空間の可能性を考える」 守口市立よつば小学校の見学を終えて…気づきの共有

Aグループ

- 低学年の普通教室に運動場に面した扉があり、外に水道があるので、今行っている教育活動が行いやすそうな点がよかった。
- コルクボード等、子どもたちの成果物をたくさん飾れるのがよかった。
- スペースが広々としていることで、子どもたちが騒いでしまう。教職員で運用方針を考えていけないといけない。
- 有事の際に、車椅子の児童が移動しやすいよう、スロープがあったらよい。

Cグループ

- デンは全学年にほしい。ただ、トイレに行った上靴でじゅうたん張りのデンに上がるのは、衛生的にどうなのか。
- アクティブステップが遊び場になってしまわないか。遊び場としてOKを出すのか、出さないかで指導が変わってくる。夏の暑い時はそこが遊び場になるのでは。
- 見渡せる空間になっているのはよい。ただし、ガラスが割れないか、強度が心配。

Eグループ

- 視察前は、吹き抜けから人が降ってくるのではと心配していたが、実際に見学してみるとよい学校。いろいろなことが考えられ、工夫されているとわかった。
- 校舎内が明るくてよい。
- ロッカーが可動式だと、児童数が増えてもフレキシブルに活用しやすくてよい。

Bグループ

- トイレがオープンなので目隠しをつくったかどうか。
- 教室が横長なので、黒板もあわせて大きくても横長でもよいのでは。子どもたちの意見がいっぱい書ける。
- 教室に水回りがあるのはよい、教室で生活や図工の授業がしやすい。
- 共有部が広くてよいが、子どもたちは地べたで活動したくなる。衛生面はどのように管理しているのか？

Dグループ

- 図書室の図書のバーコード管理がよい。
- 各教室のプレートがよつば形になっているのがよい。
- デンはすごくよい。ただ、出入り口は2つも必要なのか？
- 昇降式の黒板はよい。黒板にするか、ホワイトボード、どちらがよいのか。
- 教室内にインターホンがあると、有事の際の連絡手段になってよい。

Fグループ

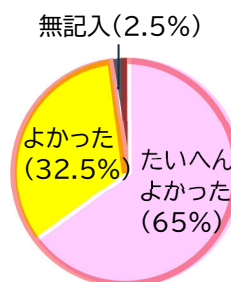
- 教室が横長で子どもとの距離が近くてよいが、授業スタイルを変える、考える必要がある。
- 更衣室はどうするか？オープンだと子どもたちが着替える場所がない。
- 学校がきれいになって児童数が増えて教室が不足して、運動場が使えなくなっている新しい守口市の学校もあると聞くと、実際にどうか。



アンケート結果より（抜粋）

- 本日の守口市立よつば小学校(統合小学校)の視察はいかがでしたか？
 - ・ よつば小を視察させていただいて、ぐんとイメージがはっきりしました。その後だったので、午後の意見交換もしやすかったです。
 - ・ 見学の機会を設けていただいたからこそ、「ああしたい」「ここはこうであった方が…」という意見が出しやすくなるので、視察があって大変良かったです。
- 本日ご説明した新しい「児童、教職員の多様な活用が期待される空間」の提案内容はいかがでしたか？
 - ・ 前回の意見を取り入れて下さっていて、うれしかったです。すてきなデザインで子ども達がいきいきと過ごすことができると感じます。
 - ・ 共用スペース、新しい学び方に合わせたスペースが確保され、学びやすくなると思います。
- 本日のワークショップはいかがでしたか？
 - ・ 2校の先生が一緒に考える機会を設定してもらいありがたかったです。
 - ・ 設計事務所の方も入ってくださることで、多様な視点で話し合うことができ、新しい学校、そして今後の子どもとの関わりの幅が広がったように思う。

視察への評価



基本設計への評価

